

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
496	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b> Management of acute urinary retention: a worldwide survey of 6074 men with benign prostatic hyperplasia. AUR(急性尿閉)の管理：良性前立腺肥大である男性 6074 名における国際調査	
<b>執筆者</b> Fitzpatrick JM, Desgrandchamps F, Adjali K, Gomez Guerra L, Hong SJ, El Khalid S, Ratana-Olarn K; Reten-World Study Group.	
<b>掲載誌</b> BJU Int. 2012 Jan;109(1):88-95.	
<b>キーワード</b> AUR、 $\alpha$ 1 ブロッカー、BPH(良性前立腺肥大)、カテーテル	
<b>要 旨</b> <p> <b>目的：</b> 実生活における AUR の管理と BPH(良性前立腺肥大)の関連について評価した。成功した TWOC(カテーテル抜去の評価)の予測因子を特定する。  <b>方法：</b> 痛みを伴う AUR のためにカテーテル治療を行った男性 6,074 名が対象となり、フランス、アジア、ラテンアメリカ、アルジェリア、中東で横断的調査が泌尿器科のある医療機関で行われた。患者の臨床所見、AUR の型、管理状態(カテーテルの状態、入院状態、TWOC の状態、<math>\alpha</math>1 ブロッカー処方の有無、緊急もしくは選択的な手術)とカテーテル治療に悪化する事象が見られたかについて調査した。TWOC 成功の予測因子を多変回帰分析により分析した。  <b>結果：</b> 男性 6,074 名のうち 4,289 名(89%)が特に誘因の無い AUR で、1,785 名(29%)が誘因のある AUR であり、主に局所/一般麻酔によるもの(28.5%)と過度のアルコール摂取によるもの(18.2%)であった。BPH は 44%の男性において、AUR の発症で発見された。AUR に伴う入院治療はアルジェリアの 1.9%からフランスの 100%まで国によって変わった。尿道カテーテルは多くの場合(89.8%)で挿入されており、TWOC(78.0%)は、中央値 5 日後に行われた。TWOC の成功率は 61%であった。多くの男性(86%)はカテーテルを取り除く前に <math>\alpha</math>1-ブロッカー(主にアルフゾシン)を処方され、年齢や AUR のタイプに関わらず TWOC は高い成功率であった。多変回帰分析により、TWOC 前の <math>\alpha</math>1-ブロッカーは成功率を 2 倍にした(オッズ比 1.92、95%CI:1.52-2.42、<math>p&lt;0.001</math>)。70 歳以上で、前立腺の大きさが 50g 以上、極度に低尿道症、カテーテルにより排出した容量が 1000ml 以上、特に誘因の無い AUR が TWOC の失敗に関係していた。カテーテルを 3 日超使用することは、TWOC の成功には影響を与えなかった。            しかし、死亡率とは関連があった。副作用による入院期間の延長とも関係があった。TWOC 失敗のケースにおいて 49%の男性は、再度カテーテルが挿入され BPH の手術を実施した。43.5%の男性が再度 TWOC を実施した。成功率は 29.5%であった。計画手術は、緊急手術よりも結果がよかった。  <b>結論：</b> BPH および AUR を患う成人男性に対する TWOC は世界標準的な診療手技となった。<math>\alpha</math>1-ブロッカーは多くの場合において TWOC 前に処方され、成功率を顕著に向上させる。カテーテルの長期化は AUR の罹患上昇と関連していた。         </p>	